2019年9月12日

株　主　各　位

会　社　名　プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　田島　秀二
（コード番号：7707　東証マザーズ）
問合せ先　取 締 役 総 務 部 長　田中　英樹
（TEL 047-303-4800　http://www.pss.co.jp/）

招集通知記載事項の一部訂正について

2019年9月10日付にてご送付いたしました「第34期定時株主総会招集ご通知」について一部訂正すべき事項がございましたので、お詫び申し上げますとともに、本ウェブサイトへの掲載をもって下記のとおり訂正させていただきます。なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

【訂正箇所】
売上構成　(1)装置　　4 ページ
〈訂正前〉

(1) 装置

当連結会計年度は、売上高は2,695百万円（前期比41.7%増）となりました。一方で、営業費用は2,611百万円（前期比43.2%増）となり、営業利益は83百万円（前期比7.1%増）となりました。詳細は、以下のとおりであります。

① ラボ（研究室）自動化装置

従来より事業展開しているDNA自動抽出装置を中心としたラボ向けの各種自動化装置の販売に関する区分であります。当連結会計年度は、売上高は1,610百万円（前期比38.8%増）となりました。一方で、営業費用は1,434百万円（前期比42.5%増）となり、営業利益は175百万円（前期比14.0%増）となりました。

売上高につきましては、OEM先の営業状況や在庫状況によって影響を受けることがあります。当連結会計年度につきましては、前期比で増収増益となりました。

〈訂正後〉

(1) 装置

当連結会計年度は、売上高は2,695百万円（前期比41.7%増）となりました。一方で、営業費用は2,612百万円（前期比43.2%増）となり、営業利益は83百万円（前期比6.5%増）となりました。詳細は、以下のとおりであります。

① ラボ（研究室）自動化装置

従来より事業展開しているDNA自動抽出装置を中心としたラボ向けの各種自動化装置の販売に関する区分であります。当連結会計年度は、売上高は1,610百万円（前期比38.8%増）となりました。一方で、営業費用は1,435百万円（前期比42.6%増）となり、営業利益は174百万円（前期比13.9%増）となりました。

売上高につきましては、OEM先の営業状況や在庫状況によって影響を受けることがあります。当連結会計年度につきましては、前期比で増収増益となりました。

損益計算書　　21 ページ

〈訂正前〉

科目
棚卸資産評価損

〈訂正後〉

科目
契約解除損失